

京都大学大学院教育学研究科
教育実践コラボレーション・センター企画
第81回 「知的コラボ」の会

発達障害と教育に関する連続研究会 (6)

発達障害者への特性と認知背景からの理解

発達障害の行動特徴を背景にある認知機能面から解説します。「発達障害」というわかりにくい言葉の意味をご理解頂けるのではないかと思います。日々の教育現場は、多忙で雑多で、ゆっくり考えて対応することは困難だと思うところですが、コツやポイントの理解で大きく変わり、その理解者が増えると本当に心強いです。是非、協力して取り組んで頂きたいと思っております。

【日時】 2026 年10月21日(水) 15:00～16:30

【場所】 教育学部本館 第1会議室

【話題提供】 船曳 康子 教授

(人間・環境学研究科/認知・行動・健康科学講座)

- ・ 対象：京都大学の教職員・学生、教職員の紹介者
- ・ 参加希望の方は、下記のフォームからお申し込みください。
※資料準備の都合上、事前申込をお願いします。

締切：10月20日（火）

<https://forms.gle/hTbnxJzyKMyu2X8WA>

- ・ お問い合わせ等は次のメールアドレスまでお知らせください。
collabo@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp



学生の参加も歓迎します。お気軽にご参加ください